



西桂町 議会だより

第14号

平成8年10月30日発行

ウォッチ ザ GI-KA-I

まちづくりは議会から



仮称柿の木公園構想図 (都留土木事務所作成)

平成8年9月定例会	平成7年度決算賛成討論、監査報告	2
	町民一人当たりの決算	3
	町長所信表明	4～5
	議案と審議 (連合審査会)	6
	建設文教委員会所管事務調査	7
	一般質問 (梅原議員、牛田議員)	8～11
	議会の動き	12

議会を傍聴
しましょう



3階の議会事務局で受付
していただくと、誰でも
傍聴できます。

小さい予算で大きな仕事を

本会議、賛成討論



小林隆芳 議員

平成7年度一般会計歳入歳出決算の認定について賛成討論を申し上げます。

繰越金が昨年度比23・0%の減少となっており、平成7年度の事業には、難問が山積していたにもかかわらず無事執行されたことを示しており、町長を始め執行部のご努力に敬意を表するものであります。

「小さい予算で大きな仕事」、限られた当町の予算を有効に使うことが大切であります。私はこの視点に立っていくつかの指摘を申し上げます。

まず町税においては収納率が低下傾向にあり町民の納税意欲を低下させないた

めにも、一層の努力を求めます。また消防団、区長、婦人会等、各種団体役員の方に対する報酬のバランスがくずれていると感ぜられ、

是正の必要があるのではないでしょうか。一方多くの

団体が町の補助金を受け、活発な活動を展開していま

す。補助金があるから事業をするという考えでなく、

町民に納得していただける結果を示すようお願いしま

す。また河川・道路のゴミ処理に始まって、近年行政

に対する町民の要望は大きくなり、それにつれて役場

も肥大化しています。町民に対して自助努力を呼びか

け、町民総参加の町づくりを積極的に行う必要があり

ます。この実現のために行

政改革による役場組織体制の見直しと、適材適所の職員配置が不可欠であります。

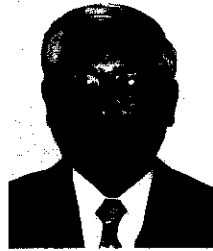
平成8年9月定例会

平成7年度一般会計決算

歳入	22億6839万5913円
歳出	21億8415万4338円

身近な問題から合理化推進

本会議、監査委員報告



渡辺卓三 監査委員

関係諸書類等適正に執行されており、決算書については正確であることを認め、併せて財務に関する財務監査も行い、良好に処理されていきました。併せて意見を述べさせていただきます。

一般会計

7年度は22億を越える今までにない大型決算、従いまして財政上は非常に厳しい現状に立たされておられ、今後下水道、上水道の大型の事業を執行していかねばならないという中で、適正な執行計画を立てて健全財政運営に取り組みよう、お願いいたします。

公園の利用状況調査をし

ていないとのことで、公園の利用状況によつては非常にむだな投資ということも考えられますので、慎重な検討をお願いします。

本年3月には行政改革大綱が大変立派な内容で設定されており、ただ立派なものを作られましても、実行しなかつたら何もならないと思います。身近な問題から合理化に関するものは各課ごとにどんどん取り上げて推進していくという方向でお願いします。

それから債権者からの代金請求伝票処理がだいぶ遅れる場合があるということをお聞きです。迅速な処理をお願いします。

下水道特別会計

平成5年度から22年度までの18年間の財政計画では総事業費が39億7千万と、

膨大な数字が予定され、綿密な計画の下に取り組んでいただき、また受益者側に負担金、使用料金の問題が供用開始から出てくる訳で、事前の広報活動等に意を注ぐようお願いいたします。

簡易水道特別会計

7年度の決算書を見ますと、一般会計からの繰入金で5939万5千円で、将来を展望して資金確保という点になれば、現在の水道料金が果たして妥当なのかにおいても綿密なる検討が必要ではないでしょうか。

グリーンセンター会計

センター収支表6年間の概要では、平成2年度は100として、平成7年度は収入合計で68%のダウンというところで、足りない分を一般会計からの繰入金で賄い、6年間で2400万円の状態です。この事業は民間と競合しており、新しい事業展開が求められるのではないのでしょうか。

物件費

55,388 円



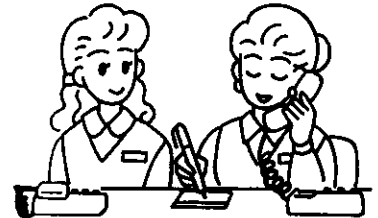
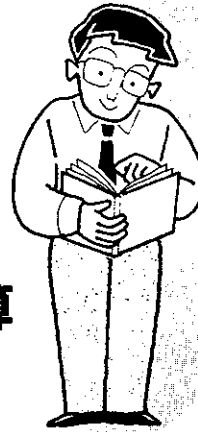
事務経費一般、臨時職員賃金、業務委託料等

その他

31,070 円

維持補修費、積立金
繰出金、投資出資金等**人件費**

73,240 円

主に常勤の職員の給与
町長、議員等の報酬**町民一人あたり
このように
使われました****平成7年度
一般会計決算****公債費**

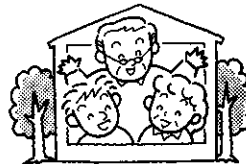
27,786 円

毎年度、償還すべき
町債の元金、利子**投資的経費**

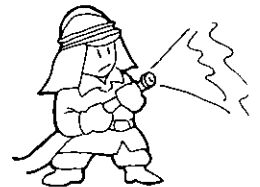
206,211 円

大型備品購入、町道、水路
建物等の建設等**扶助費**

10,509 円

施設設置費、福祉手当
医療費助成、敬老年金**補助費等**

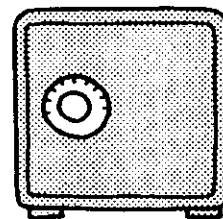
41,814 円

他市町村との広域業務
負担、他団体へ補助等**町の借金総額**

1,272,273 千円

町民一人当り

259,807 円

**町の貯金総額**

(土地を除く)

1,122,950 千円

町民一人当り

229,314 円

平成7年度特別会計決算

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	3億3193万2019円	2億9540万2661円
簡易水道特別会計	1億582万8408円	8336万5245円
老人保健法特別会計	2億2963万6542円	2億2316万1667円
三ツ峠グリーンセンター事業特別会計	2926万420円	2923万1719円
下水道特別会計	1億3779万1507円	1億3692万7311円

町民本位の行政改革を断行し、

活・活西桂を築き上げたい

桂川管理道の整備・防犯灯早期設置・0・157対策

長町 前田 町長
明表 所信

9月定例会

町民本位の行政改革を断行し、活・活西桂建設に向けて全力で取り組みます。この建設のための事業展開について申し上げます。

柿の木公園の建設

公園のレイアウトについては、8月中旬に議会、町民の皆様を考えを取り入れるなかで、町から県に要望いたしました。今定例会中に県より公園のレイアウトが示されますので、議会の意見をお聞きし、よりよい公園といたしたいと考えております。(表紙の写真参照)

桂川河川管理道の整備

補正予算に上町地区から公園への進入路確保として

桂川河川管理道(桂川下流)に向かって左岸の整備費を計上いたしました。またこの進入路を小学校への通路路として活用すべく、学校関係者及び交通安全関係者等にご協議をお願いいたしました。関係者の総意に沿って対応してまいります。

中学校前線について

町で行った道路拡幅工事と富士急行株式会社が行なった中学校前踏切りの拡幅工事と2カ所の遮断機設置工事も無事完了いたしました。一般通行者の利用のみならず、検診車・献血車等の大型バスの進入も可能となり、いきいき健康福祉センターの活用度も高められたものとなりました。関係

下水道の整備

各位のご協力に対し感謝申し上げます。各工区は、実施設計を組むにあたり3工区に分けて発注することとしており、第1工区の実施設計は既に終了しておりますので、現在は第2工区の実施設計を委託する事務を進めております。なお下水道管布設については、第1工区のうちの一部について11月中旬に工事着工を予定しております。

避難所宿泊体験訓練の実施

9月1日の防災訓練に、初めての試みとして避難所

宿泊体験訓練を実施をいたしました。参加者に危機感、悲壮感を付与すること

の難しさなど様々な課題も残りました。今回得た様々な課題や参加者の意見など



整備予定の桂川河川管理道(上町側より写す)



昨年度開催された高山良策展



避難所宿泊体験訓練開会式

平成8年度 一般会計補正予算(第3号)

補正後の予算総額 18億4050万3千円

(単位：千円)

(単位：千円)

おもな財源	
地方交付税	8814万7
国庫支出金	224万3
県支出金	22万5
財産収入	53万0
寄付金	23万6
補正額合計	9138万1

おもな使いみち		
総務費	役場隣接土地購入費	3399万2
土木費	桂川管理道関係2035万、道路改良工事外1394万9 官地払い下げ外168万、白山川改修工事関係600万	4197万9
消防費	消防本部西桂分遣所用地造成工事	320万0
教育費	体育文化振興補助金68万8、学校給食関係51万 社会教育指導員期末手当29万5	149万3
災害復旧費	山梨県東部地震災害復旧工事関係	56万0
公債費	元金100万、利子915万7	1015万7
補正額合計		9138万1

を今後の防災対策に生かしてまいりたいと思えます。

富士五湖消防本部 西桂分遣所について

分遣所については、富士急行との協議や国有財産用途変更等において事務に時間を要し、全体の進行が約1ヵ月程遅れぎみであります。このため造成工事は11月末をめどとすることにしようかと存じますが、供用開始は、当初の予定通り平成9年10月を目指して、富士五湖広域行政事務組合で現在事務を進めている状況であります。

町内の防犯灯 設置工事について

この事業は、電気料負担等、区のご理解を仰ぐものであり、ご協力をお願いします。町内のものでございます。町内全体へ防犯灯を設置する期間を当初3ヵ年で行う予定でありましたが、去る8月

に発生した傷害事件により防犯灯の重要性を再認識し、関係者の協力と予算の許す範囲で出来るだけ早めの対応をしてまいります。

病原性大腸菌 O・157対策

学校給食においては、県指導のもと、学校給食用冷凍保管庫などの機材を整備し、各種の給食についても内部の連絡会議を開く中で出来る限りの対応を指示いたしました。気をゆるめることなく、万全を期してまいりますと思えます。

高山良策展について

本年も11月3日文化の日、商工会青年部を中心として高山良策展を開催を予定しております。行く行くは、生き活きとした文化の香るまちづくりを構成するための要素として、恒久的に位置付けてまいりたいと考えております。

審議結果、6会計決算は承認すべきである。

9月定例会連合審査会、議案と審議

平成7年度一般会計歳入歳出決算

町税の滞納処理に なお一層の努力を

問 平成7年の町税の滞納額は、町民税で817万円、固定資産税で1882万5千円と増加傾向にあり、どのような対策をとるのか。

答 滞納は納税組合未加入者に多く発生しており、納税をより容易とするために口座振替を計画したい。

問 納税環境をよくしても滞納する者はいらぬと思う。強制手段は取るのか。

町長答 課長にも交渉に歩いてもらう。また差し押さえを前提とした内容証明の発行も検討している。

婦人会補助金の確保を

問 婦人会に対する補助は納税組織に対する報償とい

う形になっているが、婦人会はどのような役割をはたしているのか。

答 現在、国民年金は口座振替に移行中で、口座振替を行っていただけよう、婦人会には勸奨活動をお願いしている。

意見 国民年金における婦人会の役割が終わっても、婦人会には多岐にわたる活動があり、将来的には教育委員会に計上されている補助金に、この国民年金に計上されている報償相当額を含めていただきたい。

郡内地場産業振興センターの利用は

問 郡内地場産業振興センターは、地元業者がもっと自由に利用できるようにならないものか。

答 センターは地元業者のための施設であり、地元特産品の展示販売・開発、織

意見書を提出いたしました。9月定例会

道路整備予算確保のための意見書(要旨)

真に生活の豊かさやゆとりを実感し、活力ある地域づくりを創造するためには、緊急かつ体系的な道路整備が是非とも必要である。そのためには、その財源となるガソリン税等の道路特定財源諸税の現行税率を堅持するとともに道路整備予算の尚一層の拡大確保が是非とも必要である。ついては、次のことについて特段の配慮をお願いする。

- 平成9年度予算編成にあたっては、第11次道路整備予算の大幅な拡大確保を強く要望する。
- 道路整備促進のため、ガソリン税、軽油引取税、自動車取得税等の道路整備特定財源諸税の現行税率を堅持するとともに、国及び地方の道路整備財源を確保することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

平成8年9月13日

山梨県南都留郡西桂町議会
議長 石原 滋

提出先:

内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、自治大臣

児童に利用されるYLO会館



YLO会館の 学童保育の実態は

問 放課後対策として学童保育を実施しているが、子

物のデザインも取り組んでいる。また研修事業等を実施している。町織物協同組合もこの事業に参加している。織協を通じて申し込むのが便利かと思う。

意見 利用者が増えるよう、広く町民にPRする必要が

供を預ける費用はどれくらいか。また申し込み方法は。

答 対象は小学生で、預かる時間は午後1時頃から5時までである。費用についてはおやつ代程度、申し込みは小学校にお願いしてある。現在26名の児童が登録されている。

問 放課後、保護者のいる児童はYLO会館に遊びに行けないのか。

答 おやつがない程度で、その他は学童保育の子供と同じように利用している。

(調査) 仮称柿の木公園建設事業のための県内先進地視察

(結果) 鶴川河川公園・自然天然の材料を有効に活用
山宮河川公園・管理は地元自治体が望ましい
フレンドパーク武川・水に親しめるような公園

視察参加者

西桂町議会議員 10名
執行部参加者 4名、町長、振興課長、振興課主査、都留土木事務所
職務による参加 2名、議会事務局、運転手

視 察 地

- 1、上野原町 仮称鶴川河川公園 (担当：大月土木事務所)
- 2、甲 府 市 仮称山宮河川公園 (担当：甲府土木事務所)
- 3、武 川 村 フレンドパーク武川 (担当：武川村役場)



フレンドパーク武川にて

上野原町・仮称鶴川河川公園

事務所説明 県で行う景観形成事業(まちづくり特別)は平成3年度から整備を始めており、今年度で事業は終わる予定である。

この公園の特徴については「自然天然の材料を有効に活用して行きましょう。」というもので、鉄平石、オーストラリア産のレッドウッドと言う材料を使っている。また上野原町と管理協定を結び、公園の管理は町

武川村・フレンドパーク武川

役場説明 この公園建設は「水に親しめるような公園はどうか」というテーマで、進めてまいった訳である。

公園敷地から河川まで全部公園というイメージで、日曜日あたりは小さい子供は公園で、中学生、小学生の高学年は河川の方に降りてだいぶ水に親しんでいたようである。困いはなく入場無料で運営している。

か。また公園の利用時間は朝何時からか。

答 今年の6月19日にオープンした。利用時間は今は夏時間で、午前10時から午後6時までとなっている。問 どれくらいの利用者がいるのか。

甲府市・仮称山宮河川公園

事務所説明 ここには信玄堤の伝統的工法である水制、牛杵とか聖牛、菱牛、沈杵等、模型があり、学習が出来るように案内板を設置している。他に築山、水路、低地とか回遊式の園路を整備して、市民がそこで憩える場を造っている。

問 公園は甲府市が管理しているのか。

公園面積は7500㎡である。事業は平成元年から4年までである。

答 県が管理している。現在同様な事業では、基本的に管理は地元で、との協議のうえで、事業を起している。

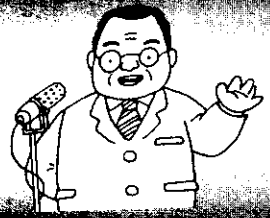
問 公園は甲府市が管理し

答 県の考えと、利用する人達がどう感じるかにはギャップがある。やはり地元の人を加えた中で計画を進めるというところが、一番必要ではないかなと思う。

平成8年8月9日所管事務調査 柿の木公園整備計画について

基本的な公園建設の考え方として、「場所的に西桂の中心地で中央公園としての機能を持たせた公園作りをしていきたい。みんなが利用でき、みんなが喜んでくれるような公園にしたい。これが基本構想である。また本町・上町からの進入路については桂川管理道等、とりあえずは歩道ということで理解していただきたい。」との町長の答弁である。

吊り橋建設については委員より、「防衛庁なり林野庁、また都留土木事務所にお問い合わせの際は、執行部に一任するのではなく、我々議会としても執行部に協力する必要がある。すばらしい公園を作っていただきたい。」との要望が出された。



町政を問う ここが聞きたい!!

行政改革による 町役場機能、機構改革は

A 上下水道課を新設、 福祉全般の一元化を実施する



梅原啓一 議員

Q 高齢化社会、福祉行政の対応、さらに水道問題、平成9年度からは本格的な下水道問題も動き出すと聞いている。現在の課ではとても事業の運営は出来ないと思われ、課の整備についての町長の考えを示していただきたい。また当町の行政審議会の町長諮問に対する状況もお聞きしたい。

A 町長 町の機構の見直しについては、行政改革大綱で「現在の4課を見直し、行政ニーズの的確な反映・職責の明確化・職員の

自覚と向上等を目指すものである。」また組織の再編では、「住民の健康管理を含めた福祉全般の一元化、上下水道事業の体制強化、企画財政の機能強化、産業観光体制の充実強化の4点を中心に検討すべき」としており、現在これに従って組織の再編に向けて取り組んでいるところである。

上下水道に関しては、平成9年4月1日より、上下水道課を新設し現在の4課から5課の体制に改編し、人員面においても明らかに増加する業務量から若干の職員募集も行ない、上下水道事業の体制強化を図りたいと考えている。

高齢化社会に向けて福祉充実のための組織については、住民課の中の福祉や



行政改革推進委員会

保健を担当する係が相互に十分な連絡調整を図り業務を推進することによって、福祉全般の一元化を果たし、高齢化社会での福祉行政が展開できると考えている。また、来年度に目指す組織再編の前提整備として、現状の課に属する係体制の強化を図り、この10月から稼働させたいと考えている。なお9月25日の行革推進委員会においては、「安易な方策を求めるのではなく、西桂町独自の改革を行うべき」との意見や「企業感覚をもって戦略的に対応し、積極的に優秀な人材を登用するように」とのご意見なども頂戴した。

地域防災計画 地震対策の見直しは

A 来年2月に防災会議開催を目標に 防災計画見直し事務を進めている

Q 地震防災がさげばれ
る今日、当町においても毎年防災の日に新しい計画が練られ、今年もまた中学校の宿泊体験等が実施されている。

当町の地域防災計画は今年度中に作成が仕上がるということであるが、当町においても備蓄庫設置の考えがあるかどうか。また当町にあつて地域防災計画を、どのような指針で進めておられるのか。また住民への周知対応について、発震と同時にどのような対策を考え、復旧を考えておられるのか。

A 町長 現在町では、災害対策基本法及び山梨県防災計画の改定を踏まえ町地域防災計画及び地震防災対策編の見直しを進めている。地域防災計画では、災

害予防計画・災害応急対策計画・災害復旧計画を柱とし、各関係機関（自主防・消防団・行政各課・住民）が効果的に災害に対処するため、初動体制マニュアルを作成するなど検討している。また防災教育計画、通信計画を定める。

災害応急対策の中で、災害に備える備蓄計画・食糧・飲料水・衣料・医薬品・毛布及び生活必需品などの備蓄計画を定め、地震発生時の人命救助対策と、火災発生とを考え、自主防災組織・消防団等、防災機関との協議をかさね、町民に周知・啓蒙していく事などを定める。以上の防災計画策定の為、防災会議を来年2月を目途に開催できるよう事務を進めておるところである。

Q 道路行政道路一般について

A 県道富士吉田・西桂線整備は地元の理解を得て実施する

Q 県道昇格により、富士吉田西桂線ほどの地点が起点で、終点か。また行程距離は何キロメートルであるのか。

A 県道昇格の通過地域住民のコンセンサス等の問題、説明対応はどのようにしておるのか。

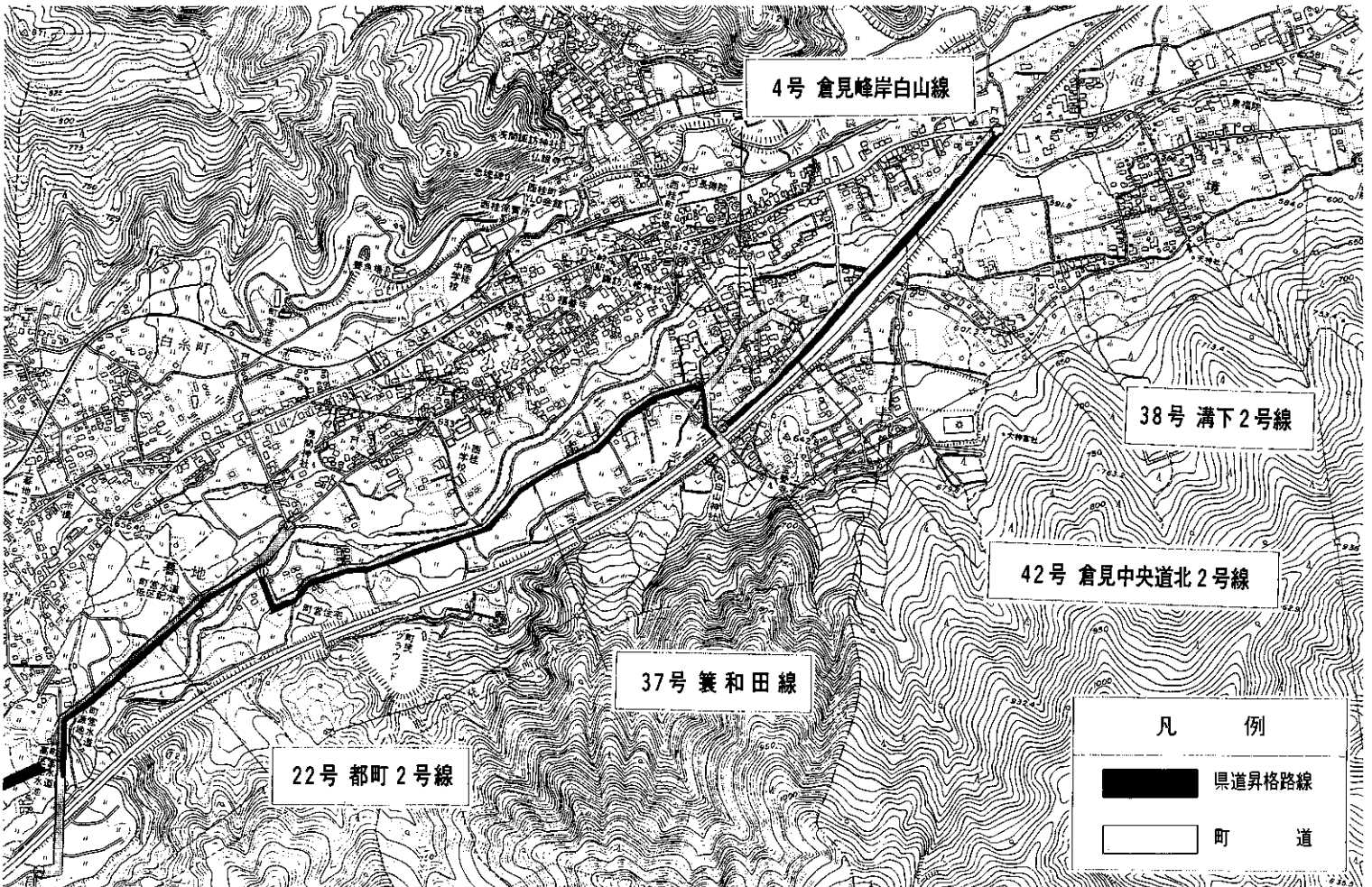
長期計画の中で新たな町道また農道についての新建設計画があるのかどうか。

県道富士吉田・西桂線の起点は、富士吉田市、小山田木鋼所(株)付近の交差点であり、終点は西桂町小沼、町道溝下2号線が国道と接する所であり、総延長は約8・2キロメートルである。現在、富士吉田市と共に都留土木事務所へ県道としての告示のため関係書類を提出する運び

となつてゐる。これが済むと山梨県で県道としての告示をし、管理が山梨県へ移る訳である。

今後、県道ルート変更も含め道路整備を図らなくてはならない。それには地元倉見区の住民感情に十分な配慮をしながら、地元地区の町議会議員を含めた倉見地区の人たちに、道路建設相談員となつていただき、地元住民の方の意見もお聞きする中で、時期がきたら、地元説明会を開いて、コンセンサスを得て、摩擦のないように進めていきたい。

長期計画の中で、新たな町道及び農道の計画は考えてはいない。しかし、今後、地区からの要望があれば、出来るものは、順次実施していきたいと思つてゐる。



審議案件1

- 〔条例〕1件
 - ◎議案26 西桂町老人医療費助成金支給条例の一部改正〔予算〕1件
- ◎議案27 平成8年度西桂町一般会計補正予算3号議定〔決算〕6件
- ◎承認5 平成7年度西桂町一般会計歳入歳出決算認定
- ◎承認6 平成7年度西桂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- ◎承認7 平成7年度西桂町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定
- ◎承認8 平成7年度西桂町老人保健法特別会計歳入歳出決算認定
- ◎承認9 平成7年度西桂町三ツ峠グリーンセンター事業特別会計歳入歳出決算認定
- ◎承認10 平成7年度西桂町下水道特別会計歳入歳出決算認定
- 〔同意〕2件
 - ◎同意1 西桂町教育委員会の委員の任命につき同意を求める



武蔵雄信 教育委員

倉見、下暮地の

治山・治水の対策は

県の事業として取り上げて

もらえるよう努力する



牛田 茂 議員

山腹崩壊の発生の危惧について、ゴルフ場造成事業の事前協議書の取り下げがあり、今後の防災対策の促進について進捗状況は。

A町長

準用河川白山川から上流にかけての平成9年度以降の整備対策としては、東京電力用水路までの間約223・0メートルを、県の事業として取り上げていただくよう、都留土木事務所

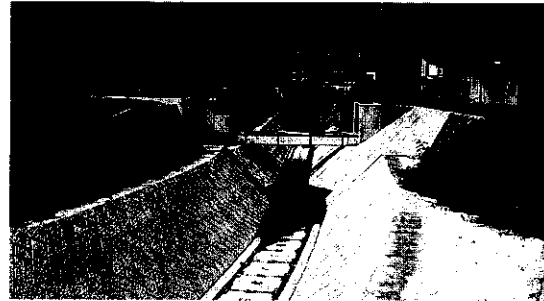
の河川砂防課にお願いしたところ、現地調査を実施された。平成9年度から実施できるよう、現在調整中である。

また流木止め等の防災対策は、小屋の入防災対策事業として平成7年度から平成9年度の3カ年計画で4基のえん堤を大月林務事務所において事業執行してい

る。平成9年度に最後の1基を完成させる計画である。また今後さらに流木止め等の対策事業として取り上げていただくよう、大月林務事務所においてお願いする。

次に厄神川上流の崩壊対策では、倉見山の頂上からえん堤の間の山腹の崩壊箇所について、大月林務事務所管内の危険箇所パトロールにより現地を視察している。何とか事業実施に向けて努力していきたい。

次に松久保地区の防災対策は、今年の6月の都留土木事務所管内の危険箇所パトロールの際に、特に私の方からお願いをした。急傾斜地崩壊対策事業を含めた



整備された白山川

何らかの事業を取り入れていただくべく、都留土木事務所へお願いしている。

次に一石川、西方の山腹崩壊の発生の危惧については、平成8年7月8日付けで一級河川護岸改修及び砂防えん堤整備に関する陳情書を都留土木事務所長あてに提出した。主な内容は、水の上流部及び一石川への砂防えん堤設置、柄杓流川について上河原橋より、

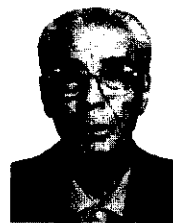
（株）長谷川綿行下流までの約1・5キロメートルの未整備の護岸改修整備をお願いするものである。

その結果、都留土木事務所には早速対応していただき、7月中旬には水の木川、一石川を現地調査を実施された。水の木川の砂防えん堤設置のため、今年度中に都留土木事務所において測量委託を実施し、地権者説

（11ページに続く）

審議案件2

◎同意2 西桂町公平委員会の委員選任につき同意を求め



渡辺誠司 公平委員

〔発議〕1件
発議6 道路整備予算確保に関する意見書の提出

9月定例会日程

5日 議会運営委員会
（運営方法決定）
13日 本会議開会
会議録署名議員指名
会期の決定

閉会中の委員会継続調査報告
町長所信表明・町長提案理由一括説明（議案26、27、承認5、10）
決算監査報告

上程議案に対する質疑
常任委員会付託
議員提案（発議6）
質疑・討論・採決（可決）
休会議決

本会議散会
連合審査会
（付託議案審議）

Q ライフライン確保及び生活物資の備蓄確保について

A 極めて重要な課題であり対策を講じてまいりたい

Q 東海地震、県より県北西部他活断層地震

の想定調査結果が発表された。阪神大震災を教訓としたライフライン確保、生活物資備蓄確保について伺う。

1番、消防団活動での組織点検、救急活動、及び救急用品、衛生用品、防火活動における自然水、消火栓、防火水槽の確保は。

2番、上水道対策としての飲料水、ミネラルウォーター、簡易水道での倉見・小沼・下暮地線を現状以外

の横線の確保は。

3番、電気通信としての東電、N.T.Tとの連携及び簡易発電機の配備は。

4番、交通対策として、幹線道路の確保は。

5番、避難所及び生活物資の対策としてのテント、資の対策としての毛布、寝袋、防寒着、主食、炊事セット等々の確保、備蓄状況の対策は。

A 町長 1点目の消防活動では、災害発生時は防災機関の初動が極めて重要である。住民安否・人的被害

害の早期収集が計れるよう各区自主防災組織に無線機及び受令機を配備致し、合せて各区自主防災組織に啓蒙を促し、消防団においては、常日頃より火災発生に伴う消火活動訓練及び施設の保守点検を行なっている。

2点目の飲料水の確保については、災害時における水道は供給不能事態が想定され、湧水の利用と水製造

企業との間に協定を結ぶなどの対策を確立して、飲料水確保を図りたい。また三ツ峠方面の水源探査を実施

3点目の電気・電灯・通信・電話の復旧については、防災会議委員の増員を図り委員数を19名以内とした。電力・電話・運輸関係の機関から委員を委嘱し、防災会議で連携を計り、ライフラインが早期に復旧される

よう目指すものである。4点目の災害時の道路確保については、案として建設業者（土木・水道等）との協力体制の確立をしていきたいと考える。

5点目の応急物資の確保については、応急物資の備蓄に公共施設や避難所の空室を利用するほか、町内の商店の商品も備蓄であるという考え方から、災害時には優先的に配付いただけるよう事前に協定を結ぶ必要があるものと考えている。

Q 被害がでた地域へすぐ災害物資をお届けできる、全体的な備蓄倉庫的なものを建てることも必要である。倉庫の中には物品等が整理され、何時でも即持ち出しが可能なような形の対策が講じられないか。

A 町長 備蓄倉庫については、私としては保育所の裏の総合倉庫を、または今回購入した役場隣の建物を水道係と併用して使用するなど、2つを備蓄倉庫にしたら良いと考える。

明会を経て、来年度から事業執行予定で取り組むとの回答を得ている。一石川については、あと数箇所えん堤を設置すれば、河川の氾濫を最小限に食い止められるのではないかと考え、9月中旬に大月林務事務所と現地調査を実施したところである。えん堤設置は大月林務事務所が治山事業として取り進む方向で測量に入るとの回答を得ている。地権者のご理解を得て、来年度から事業執行ができるよう努力したい。

また柄杓流川の未整備の護岸改修整備については、都留土木事務所の見解では、本格的な工事を執行するには、武道館から上河原橋及び下河原橋までの間を今の川幅を約2倍にして、下流を整備するとの理由づけがあれば、国の事業として取り組めるとの回答である。

10月中には関係地権者への説明会を開催し、12月末までに都留土木事務所へ返事したいと考えている。

19日

本会議再開
付託議案総務委員長報告（議案26、27）
質疑・討論・採決
（全議案可決）

休会議決
本会議散会
連合審査会

20日

（付託議案審議）
総務委員会
（所管事務調査）
全員協議会
（都留土木事務所、柿木公園構想図提示）
建設文教委員会
（所管事務調査）
本会議再開

27日

会期中の委員会事務調査報告
付託議案総務委員長報告（承認5、9）
質疑・討論・採決
（全議案承認）
付託議案建設文教委員長報告（承認10）
質疑・討論・採決
（承認）

町長提案理由一括説明
（同意1、2）
質疑・討論・採決
（全議案同意）
一般質問（梅原議員、牛田議員）
委員会閉会中の継続調査議決
本会議閉会



避難所体験参加者、夕食づくり

議会のうごき



富士山クリーン作戦三ツ峠清掃



富士山クリーン作戦記念式典

- 7月
 - 20日 ほたる祭り(全議員)
 - 25日 納税組合長会議(正副議長、総務委員長)
 - 28日 年齢別ソフトボール大会(全議員)
- 8月
 - 9日 建設文教常任委員会(全議員)
 - ふるさと夏祭り実行委員会(議長)
- 13日 防災訓練打ち合わせ
- 21日 総務常任委員会(全議員)
- 25日 事業所別ソフトボール大会(全議員)
- 31日 避難所体験訓練開会
- 15日 ふるさと夏祭り(正副議長、消防委員)
- 18日 三ツ峠清掃(正副議長、常任委員長)
- 富士山クリーン作戦記念式典(全議員)



南都留郡町村議員グランドゴルフ大会



町内そば栽培ほ場視察

- 9月
 - 1日 総合防災訓練(全議員)
 - 2日 小学校通学路変更打ち合わせ会(正副議長、建設文教委員長)
 - 4日 南都留郡町村議員グランドゴルフ大会(全議員)
 - 7日 保育所運動会(全議員)
 - 8日 小学校運動会(全議員)
- 式(正副議長、消防委員、広域議員)
- 10日 県下町村議会議員研修会(全議員)
- 11日 敬老会(全議員)
- 15日 中学校学園祭・体育祭(全議員)
- 20日 町内そば栽培圃場視察試食会(全議員)
- 24日 商工会町づくり計画推進委員会(副議長)
- 25日 町行政改革審議会(牛田議員・滝口議員)
- 7日 教育委員任命式(副議長)
- 10日 町民体育祭(全議員)

編集メモ

町長は活・活西桂建設を掲げていますが、町の進路の意志決定をするのは町民を代表する議会です。町の行く方の舵取を担う一人として、「小さい予算で大きな仕事」を標榜しながら、より効率の良い町づくりが出来るよう限られた歳入を如何に使っていくか、使途は適格なものか、公正に論議を尽くしての結論なのか、数多くの町民の要望をその年度内で何パーセント満たせるのか、町当局に求められていると重く受けとめております。

今世紀はあと4年で終わります。来るべき21世紀に向けて町の基礎作りは限られた時間の中、着実にかつ正確に進められなければなりません。

- 編集委員長 高尾 活式
- 副委員長 滝口 憲一
- 委員 渡辺英一郎
- 委員 小林 隆芳
- 委員 高尾 嘉一